

### 学校運営協議会議事録

日時	令和 8 年 2 月 16 日 ( 月 ) 14 時 50 分 ~ 16 時 30 分			
場所	三谷小学校			
出席者	委員等	委員 16 名 (欠席者 5 名)		
	学校	三谷中校長	三谷小校長 三谷東小校長	
		三谷中教頭	三谷小教頭 三谷東小教頭	
	市教委	学校教育課課長補佐	生涯学習課統括コーディネーター 2 名	
議題	(1) 2 学期の教育活動の報告			
	(2) 令和 7 年度学校評価アンケート結果と考察について			
	(3) 令和 8 年度三谷地区学校運営協議会全体計画 (案) について			
	(4) 令和 8 年度学校経営方針 (案) について			
	(5) 令和 8 年度三谷地区小中学校年間計画 (案) について			
	(6) 令和 8 年度三谷地区小中一貫教育 (案) について			
	(7) 令和 8 年度三谷地区地域学校協働活動全体計画 (案) について			
協議要旨	意見の概要	議事 (1)(2) ◇「困った時に相談できる先生」：13p 増え、39%。これは5割アップ。なぜこんなに増えた？ ⇒子どもの実態をしっかりとらえる＝日記・教育相談・チームで対応 ◇「主体的に学習に取り組むように…」：どのような方策を？ ⇒「主体的に…」は成功体験があってこそ。次につなげられる。三谷中祭では周りの子の応援で、昨年度から今年度 4→10グループへ。授業でも「問いを作ろう」と自分の学びを進めている。 ⇒落ち着いた学習環境。「よく聞ける」と「それに反応する子どもたち」、主体的な学びは、先生たちが夢中になることも大切。 ⇒問いを見つけ、担任はサポートしていく。子どもたち：積極的⇄保護者：まだまだ と差がある。家庭科部会アンケート結果からも、家庭でも主体的に学べるとよい。 ◇「困ったときに相談できる先生がいる」でいないという回答 三谷中:18% 三谷小:4% 三谷東小:25% この差はどこから？ ⇒三谷小:1学級の人数が20名程度が多い。この違いは大きい。 ⇒三谷中:思春期・外国籍の子どもたち(三谷東も同様)の多さ。 ◇上記サポートは学校を超えている。市としての取り組みは？ ⇒塩津と三谷(三谷小0。三谷東小多)に多い。日本語指導のサポートをしている。	協議の結果	承認
		議事 (3)(4)(5)(6)(7) ◇教職員の働き方改革は、学校で使うAI、各教科授業案のベース作り、電話にかわるe-mail連絡等が考えられる。市教委としての対策は？ ⇒e-mailは先生同士はOK。個人は利用しない。欠席連絡はコドモンで行うことで、朝の電話は減った。 ⇒ストレスチェックの結果から、時間は越えているものの、気持ちは充実している。同僚が支え、市も対応してくれている。 ◇グラフが学校それぞれであるのは？ ⇒3校でそろえていく。 ■アンケートは、観点として漏れがなければよい。結果から、学校は変化が激しい所に着目。三谷としてどこに重点を置くかを考えたい。結果をAIに渡すと、分析してくれる。ぜひ使って。 ■自主性 座学よりも実習・体験が多い方が自主性が見られる。成功体験を重ね、資格を取ることも自信につながる。部活動も自主性あり。中学は減少傾向が心配。生物の飼育は時間外勤務がなくせない。		承認
情報交換	*次年度の委員について *参加者より(統括CDより、推進員の立場から、ボランティアに参加して)			
協議資料				
備考	傍聴者 [ 0 ] 名			